

		長寿命化による大規模改修	施設の更新
項目	小項目	説明	説明
周辺環境	基準値	○ 現施設においても基準値を満たしている。	○ 現施設においても基準値を満たしている。
	上乘せ基準	× 設備機器により基準値の上乗せが出来ない。	◎ 基準値以上の設定を行うことが可能となる。
ごみ処理	新耐震基準	○ 適合している。	◎ 適合し、更に安全性を確保できる。(現施設の1.5倍)
安定性	施設の稼働性	△ 各施設の経年変化に伴い、稼働性は低下する。	◎ 新設の為、長期に渡り高度な稼働性を確保できる。
機器性能	最新技術の導入	△ 導入部分が一定の施設に限られる。	◎ 施設の全てにおいて、最新技術の導入ができる。
	設備の耐用年数	△ 15年間の延命化に限られ、その後、改築が必要となる。	◎ 改築により30年以上稼働可能となる。
余熱利用等	発電装置	× 費用対効果、処理フロー及び配置面から設置はできない。	○ 設置が可能となる。
	温水の利用先	× 施設の長寿命化のため設置はできない。	○ 温水利用施設の設置が可能となる。
	環境学習	× 施設の配置上確保ができない。	○ 全体の処理工程が見られ、環境学習としての効果がある。

項目	単位	法規制値	現施設 自主規制値	施設の更新 自主規制値※
ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	10	1	1/20以下
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.15	0.1	1/10以下
硫黄酸化物	K値	8.76	5	1/20以下
窒素酸化物	ppm	250	200	1/2以下
塩化水素	ppm	430	200	1/2以下

※現施設自主規制値との比較を表しています。